

Handsome



自分自身の中の壁を越える為に

Handsome CONTENTS February 2013 No.292

TOPICS 総務・40周年事業準備委員会担当 1月新年例会『賀詞交換会』開催

《特集》平成25年新年名刺交換会開催／平成25年厄落としの会／中央会OBを訪ねて 第13期御卒会 (有)テラーショージ代表取締役 木山三郎氏

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 河津 慎二 ◆編集責任者／担当 副会長 牧田 継夫 ◆制作・編集 第38期メディアコミュニケーション委員会／委員長 長谷川 貴久

平成24年度1月新年例会『賀詞交歓会』開催

日時：平成25年1月16日(水) 場所：米子全日空ホテル 担当：総務・40周年事業準備委員会

平成25年の幕開けとなる新年例会・賀詞交歓会が開催された。



冒頭、河津会長が開会の挨拶にて、折り返しとなる第38期の前半の活動内容について紹介された。また、年末に起きたトンネル崩落事故にも触れられ、「高度経済成長期に造られた物が壊れてきているが、その時代に生まれた我々が、今後は次代を担い頑張っていかなければならないと感じた」と語られ、最後に「残り半期、挑戦のスローガンのもと、地域発展の為に気持ち込めた活動をしていきます」と力強く宣言された。

新入会員バッジ授与では、山崎慎也会員と松井淳一会員にバッジが授与され、両会員が力強く抱負を語った。さらに、めでたい新年早々、元旦にご長男が誕生された須山副会長にお祝いが渡され、お礼のあいさつで25年後の入会予約?がされると会場はひととき大きな歓声に包まれた。例会の間、須山親子の素晴らしい笑顔が印象的でした。(須山OB・須山副会長、おめでとう



ございます。) 続いて来賓を代表し、鳥取県西部総合事務所の林昭男所長、宇佐美明OB会長よりご祝辞をいただいた。



その後、参加者一同の「よいしょっ!」の掛け声に合わせて、鏡開きが行われ、野坂康夫米子市長のご発声で乾杯を行い、賀詞交歓会が開会した。

各テーブル和やかな雰囲気の中、時間が進み、会員同士やOB会員との交流が行われた。会の中盤では、今年の西部青年中央会トライアスロン長田実行委員長、松田マラソン部長、山内AS部長、濱田ボランティア部長から大会にかける想いが語られた。恒例となっている新入会員によるアトラクションでは、今年は2つの太鼓を代わる代わる打ち合う『ぶち合わせ太鼓』が披露された。20時間以上にも及び練習の成果もあり、「どっこいどっこい」の掛け声



の中、息のあった太鼓が会場内に響き渡った。演奏を終えた新入会員からは、中央会活動への意気込みが語られ、現役会員・OB会員からエールが送られた。

もう一つのアトラクションとして、鳥取県無形民俗文化財にも指定されている、下蚊屋(さがりかや)荒神神楽保存会による



神楽の披露があり、参加者は勇壮な舞演に見入っていた。最後に中村勝治境港市市長の一本締めにより賀詞交歓会は閉会した。(記事:徳尾)



例会を終えて… 総務・40周年事業準備委員会委員長 盛政 春樹



1月新年例会はいかがでしたでしょうか。今期の新入会員は、アトラクションで【ぶち合わせ太鼓】を披露しました。全体練習は計8回(時間にして20時間以上)。太鼓を叩きすぎて手の皮がむける会員もいましたが、躍動感あふれる演技でOB会員からも「とても良かった。」「すばらしい。」「頼もしい新入会員達だ!」と大絶賛の内容で会場を沸かせてくれました。本当に感謝、感謝です。また、現役会員全員がホスト役となって来賓・OB会員と交流を図る姿が多々見受けられ、例年になく良い例会であったと思います。(自画自賛ですいません。)

第38期の下期最初の例会ということもあって「必ず成功させて2月の例会につなげなくては!!!」という意気込みで望みました。その結果、会場でチョロチョロ動くテルテル坊主が目立ってしまい、落ち着きのない委員長として見られる場面もあったと思います。

今後の課題もありますが、何はともあれ委員会メンバーはもちろんのこと、現役会員の皆様方のおかげで無事に1月新年例会を終えることができました。本当にありがとうございました。

はじめての例会



メディアコミュニケーション委員会 山崎慎也
今回、自分にとって初めての例会となる新年例会に参加し、大勢の方の前で河津会長よりバッジを頂き、身の引き締まる思いが致しました。

また例会の中ではアトラクションとして、『ぶち合わせ太鼓』を他の新入会員の皆さんと共に披露させて頂きました。練習期間が非常に少なく正直不安に思っていたのですが、周りの方に励まして頂きながら何とか形にすることが出来ました。また何より楽しみながら出来た事が非常に良かったと思っております。まじめにやる事も必要ですが、改めて楽しみながらやる事の重要性に気付かされました。おかげで早速思い出がひとつ出来ました。これから会を通じてたくさんの思い出が出来るよう、頑張っていきたいと思えます。



総務・40周年事業準備委員会 松井淳一
今回初めて例会に参加させて頂いた感想としては、「圧倒された」の一言に尽きます。

まず最初に、参加人数の多さと幅の広さに圧倒されました。長きに渡って中央会を支えてこられたであろうOB会員や、地域を代表される来賓の方まで、これほど一同に参集される会というのは地元ではなかなか存在しないのではないのでしょうか。続いて圧倒されたのが、新入会員によるぶち合わせ太鼓です。きっと皆さん日々の仕事で忙しい方ばかりなのではないでしょうか、統制のとれた動きに加えて、気合のこもったダイナミックなバチさばきは想像以上の感動を覚えました。次回自分が参加する新人アトラクションでは、今回以上の感動を人々に与えることが出来ればと思います。

平成25年中央会新年合同名刺交換会開催



平成25年1月9日(水)ホテルニューオータニ鳥取に於いて、『平成25年中央会新年合同名刺交換会』が開催されました。中央会関連8団体が共同体として連携し、協力し合う事を願い企画されたこの度の会は、来賓41名を含む200名の参加で、盛大に執り行われました。冒頭、団体中央会常田会長より、「いつもの新年会とは違い、新たな出会いと語らいの場となるよう企画しました。どんなに優れていても個の力には限界がありますが、組合機構による助け合いには限界がありません。」と年頭あいさつにて『共助』の重要性を説かれました。

ご来賓の方々よりごあいさつ頂いた後、鳥取商工会議所清水会頭による、新年を祝う短歌と『松竹梅』の詩吟が披露されました。

また乾杯の音頭は、『平成25年度レディース中央会全国フォーラム』大山開催を控えた、鳥取女性中央会衣笠会長よりご発声を頂きました。歓談中には団体中央会清水専務理事より「例年より参加し易く、密な交流が出来るよう工夫してみました。新しい組織の在り方を模索し、より良い運営を行う為に、今後も積極的な変化を意識していきたいと思えます。」と新年会の趣旨についてのお話を伺いました。自分としては、普段なかなかお会い出来ない方からもお名刺を頂戴できたので、趣旨に沿った会として成功であると感じました。

(記事:長谷川)



県出向レポート

今期も残すところ約半年となりましたが、皆さんいかがお過ごしですか？

こんにちは、県出向レポートの長谷川洋司です。

今期の県事業テーマでもある『同士一丸』のもと、北口県会長を中心に各地区会長・県出向理事・委員長、さらには会員の皆様にご協力いただきながら、前期は委員長交流事業と第1回他地区交流活動事業を開催することができました。

後期の県事業も、3月開催のビジネス交流事業・4月5月開催予定の他地区交流活動事業・7月開催予定の通常総会・はばたきの発行、と盛りだくさんの内容となっております。

各地区会員の皆様に多数参加いただけるように、有意義な時間・内容にする為にはどうしたらいいのか、県役員会にて議論を重ね進めております。私が今期初めて役を受けさせていただき感じている事は、各地区で異なる物の見方や特色ある考え方など、「なるほど！」と毎回勉強させていただいております。

各地区の活動も後半戦に向けて活発になっておりますが、県の活動も負けられないように各地区の垣根を越え、『同士一丸』となって熱い活動ができるよう頑張っていきますので、皆様ご協力宜しくお願い致します。

(記事:県出向理事 長谷川洋司)

平成25年厄落しの会



平成25年1月26日(土)勝田神社に於いて、『厄落しの会』が執り行われた。

今年はお礼参り3名(河津会長、岩田監事、高野会員)、後厄2名(三鴨会員、拝藤会員)、本厄1名(長谷川委員長)、前厄4名(桑本県専務理事、内田県出向、廣谷会員、本田会員)が参拝し、神前にてそれぞれの厄を祓い落して貰った。厄年の人に「長い」「ウロコ模様」「七色」の物を贈ると良いとされるが、これらのワードから連想されるのは『蛇』である。御山で厄祓いを受けた後に麓の花街で厄落しをする慣習も、花街の神様は弁天様であり、そのお使いは蛇である事に関係する。これらは原始信仰の名残であり、また信仰と風俗文化との関係を指示すのだが、これはまたの機会に。

中央会の在籍中に厄年を迎える男性も多い。この年頃に社会的な重責を負い、心と体の大きな曲がり角を実感し、大きな節目を迎える方も居られる。どうせするのなら会の仲間とする楽しい厄落しの方が良いと思うが如何か？

(記事:長谷川)





中央会OBを訪ねて

(有)テラーショー代表取締役
木山三郎OB (第13期ご卒会)



今回は、OB会員になられてからも大変ご活躍の、ミスター中央会こと木山OBにお話を伺いました。

まず初めに入会のきっかけについて伺いました。当時、営業にも力を入れるようになっておられた木山OBは、既存のお客様訪問を中心に活動されていたそうです。しかしそうした中、「どうしても一日で出会える人数は限られる」、「どうしたら大勢の人に会えるのか?」と考えていたところに出会ったのが『中央会』でした。そして「井の中の蛙ではいけない」、「外へ出て大勢の若者の考え方を聞きたい」との思いから入会されたそうです。

入会して3年目には総務委員長を務められたのですが、その時自らが企画された地引き網大会がとても印象に残っていると言われました。「木山がやるからにはやりがいのある、みんなの思い出に残るような大会にしたい。」との思いに応え、不漁に備え、お土産用の魚を用意してくれた会員・子ども用に風船を自費で用意してくれた会員・とれたての魚をその場で刺身してくれた会員など、大勢の会員が力になってくれたそうです。

ステージまで設けた一大イベントは、こうしたみんなの協力のもと、大盛況に終わったとの事。木山OBの人柄がみんな

を動かしたのだと思います。余談ですが、地引き網ではいろいろな魚が捕れたのに、良さそうな魚を漁師さん?が持って行ってしまった??そうなのですが、それでもお土産用に用意された魚をみんなが喜んで持って帰ってくれたとのことでした。また今年度のテーマでもある「挑戦」。いろいろ挑戦されている木山OBですが、今は毎朝1時間半以上ウォーキングを続けておられるそうです。過去には健康のため週2日の休肝日にも挑戦したこともあるとのことですが、結果は・・・。そして現在、お酒は良き友だそうです。



現役時代から多くの仲間と友愛・団結を深めてこられた木山OBに、最後に現役会員に一言いただきました。「入会したからには一人でも多くの友達を作ってほしい。綱領にもあるように、多くの人に会いたい、友愛・団結を深めて欲しい。そこから英知も養われると思う。」また「仕事はもちろんだが、家族を大切に!」とのアドバイスもいただきました。

木山OBとは面識がない若い現役会員もおられると思いますが、本当に優しく頼りになるOBです。ぜひ、OB交流会等でお会いする機会があったら積極的にご挨拶に行ってください。最後になりますが、新年のお忙しいところ取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。(記事・高野)

気になるアレ覗いてみた



平成25年1月新年例会のアトラクションは、終えてみればあっという間でしたが、参加した新入会員にとっては密度の濃い準備期間を過ごせたのではなかったでしょうか。

平成25年11月伯耆町役場で最初の練習が行われました。全員に太鼓のバチが渡され、講師の先生からバチの持ち方・太鼓の打ち方・リズム等教わるにつれ、取り組みもうとしているアトラクションのレベルの高さを実感していきました。すると、皆の表情からは徐々に余裕が無くなっていったように感じました。

そこから毎週、山口リーダー・奥森副リーダーのもと猛特訓が始まりました。集合練習に加え、楽曲を録音したCDを通勤途中に聴いたり、自主練習にも励みました。手のひらにマメができた人、手の皮が剥け、バチに血が付着したり、痛みで肩が上がらない人等、そんな状況になるまで皆で精力的に練習を重ねました。本番では、太鼓の達人とまではいきませんでしたが、10分弱の時間で自分達なりに最高のパフォーマンスであったと思います。高い山に挑戦したおかげで、最高の景色を皆で観ることができました。

今回の活動を通じ、たくさんの方のご協力を賜わり、感謝申し上げます。各自多くのことを吸収できましたので、ここで培ったものを活かし、太鼓の勢いそのままに元氣よく明るい年にしていきたいと思ひます。(記事・下村)

義援金のお礼

鳥取県西部中小企業青年中央会の現役会員様並びにOB会員様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

さて9月の反日デモによる被害に際し皆様方よりお見舞いを賜わり誠にありがとうございます。この様な時には、皆様のお心遣いは何にも代え難いものです。

マスコミ等で報道された通り当社への被害は甚大ではありましたが、幸いにも社員全員無事であり、現在では被災前の半分まで復旧を果しております。

トライアスロン実行委員会レポート

平成25年1月21日(月) 炉端かば米子店に於いて、第33回全日本トライアスロン皆生大会西部青年中央会実行委員会の第1回全体会議を開催致しました。

前大会の実行委員会より約1ヶ月早い全体会議の開催です。長田実行委員長の方針説明では、早々に各部の配属先を決め、各会員及び中央会全体の意識付けを行う旨の説明を受け会議が進められました。

協議事項の各部員配属では、適材適所に配属先が次々と決まっていき、各部の組織体制が整えられました。実行委員会では、各部の運営を認識・理解し合い、新たに各部を再構築したうえで大会本番に向け始動していきます。

大会本番まであと半年。あの灼熱の太陽が照りつける中を疾走する鉄人達に負けぬよう、オール中央会でトライアスロン皆生大会を盛り上げていきたいと思ひます。(記事・本田)

お誕生おめでとう



須山 峻平くん

(須山裕一副会長の第1子)

平成25年1月1日生まれ

私自身、まさかと思ひましたが、平成25年元旦に誕生いたしました。

名前は峻平(しゅんべい)です。色々ご心配をいただいた皆様、本当に有難うございました。これからも宜しくお願ひいたします。

甚だ簡単ではありますが、書中をもちまして報告させて頂きます。最後に貴会の今後益々のご活躍をお祈り致します。

株式会社ミトクハース
代表取締役会長 長谷川 誠
取締役社長 河本 淳一
取締役 長谷川 貴久

会長ぼろ!



1月新年例会には年始の大変お忙しい中、ご来賓・OB会員の皆様にご臨席賜り、誠に有難う御座います。行き届かない点もあったかと思いますが、多くの方に良かった、と言って頂き、気持ちを込めた良い例会が出来たのではないかと考えております。我々が今でも色々な活動が出来るのは、諸先輩方に当会を築いて頂いたおかげだと改めて感じました。皆様のご協力やご指導で、今期も無事8ヶ月目を迎えることが出来、本当に感謝致しております。有難う御座います。今後も引き続き宜しくお願い申し上げます。

さて、現役会員の皆様、おかげさまで第38期西部青年中央会も、スタートして8ヶ月目となりました。ここまでの間、気持ちのこもった活動をして頂き有難う御座います。残り期間も変わらず、宜しくお願い致します。

今期のスローガン「挑戦」～自分自身の中の壁を越える為に～を実行されてますでしょうか。私が持っている辞書には、挑戦とは「これまで手がけたことのないことに立ち向かうこと」と書いてあります。私の場合は、まさに今の会長職でしょうか。皆様それぞれが挑戦に立ち向かい、その先に何かがあるか確かめて頂きたいと思っております。良い結果にせよ悪い結果にせよ、その先には必ず、自分自身の新たな成長が待っていると私は信じております。

1月度委員会報告

メディアコミュニケーション委員会

平成25年1月10日(木) 19:00～ 場所:米子市文化ホール研修室
議題 / 役員会報告

- ・ハンサム・中央会TV・チラシ・新入会員オリエンテーション
- ・「ハンサム制作講座」講師:東京印刷 木下裕子氏

政治行政委員会

平成25年1月10日(木) 19:00～ 場所:レストランぶどうの木
議題 / 役員会報告

- ・2月例会について
- ・県との意見交換会
- ・会員拡大について
- ・その他

チャレンジ委員会

平成25年1月10日(木) 19:00～ 場所:米子コンベンションセンター第4会議室
議題 / 役員会報告

- ・12月クリスマス家族例会反省
- ・4月例会について
- ・会員拡大について
- ・その他

教育対策検討委員会

平成25年1月10日(木) 19:00～ 場所:鳥取県立武道館研修室
議題 / 役員会報告

- ・12月クリスマス家族例会反省
- ・3月例会について
- ・会員拡大について

道州制問題検討委員会

平成25年1月11日(金) 19:00～ 場所:米子コンベンションセンター第5会議室A
議題 / 役員会報告

- ・松江YEG交流事業
- ・道州制問題について
- ・その他

総務・40周年事業準備委員会

平成25年1月11日(金) 19:00～ 場所:米子ニューアーバンホテル
議題 / 役員会報告

- ・新年例会について
- ・会員拡大について
- ・その他

新入会員



まつ い じゅん いち A型
有限会社 渡部 専務取締役
葬祭業
〒683-0033 米子市長砂町1107
TEL 33-4444 FAX 34-7120
(KT) 090-4669-1304
(EM) junichi_matsui@hotmail.com
S 50.11生

〈コメント〉

H25年1月入会の(前)渡部の松井です。中央会活動を通じ、地域貢献という新しい価値観の形成、自己や企業の更なる成長が実現出来ればと思っています。若輩者ですが、何卒ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

中央会徒然

松田幸紀副会長

今から8年前、私が丁度30歳の時に中央会に入会させて頂き、今年で8年目に入りました。その間本当に多くの事を学ばせて頂き、沢山の仲間を増やす事が出来ました。

1番印象に残っているのは、入会してすぐの例会で、当時の北口政治行政委員長に司会を任命された事です。後に知ったのですが、直前の役員会で、「入会してすぐの会員に、臨時総会がある例会の司会は無理だ!」という意見にも、北口委員長に「あいつにやらせたい!」と言って頂いたおかげで決まったそうで、それを聞いた時には本当に感動・感激いたしました。

そしてもう一つ。その当時、自社ではまだ確立されていなかった『会議の形』を、中央会の役員会・委員会の準備から進行に至るまで、1から学べた事で、すぐに自社に取り入れられた事が非常に印象深く残っております。

中央会と同級生の38歳。中央会生活も丁度折り返しです。今後、益々沢山の事を学び、沢山の仲間を作っていきたいと思っております。今季は特に、副会長兼マラソン部長、そして7年目になる野球部キャプテンでもあります。残りの中央会生活でしっかりと中央会に恩返し出来るよう、頑張っていきたいと思っております。

今月のNice Shot!



日時と場所: 米子全日空ホテル1月新年例会 会場にて

撮影対象: 西部青年中央会 女性会員4名

タイトル: 『見返り美人』

コメント: よく言われる「見返り美人」って振り返ってる姿が美しい人を指すのか、見返るほどの美人を指すのか? どっちなんだろうと思いつつ撮った一枚です。どちらにしても日本の女性は、着物姿のもんだなあ? と思った次第です。

2月役員会報告

2月役員会が平成25年2月1日(金)米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・1月新年例会開催の件
- ・2月例会開催の件
- ・3月例会開催の件
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

2月例会のご案内

と き: 平成25年2月18日(金) 19:00～21:30

と ころ: ホテルサンルート米子 芙蓉東の間

内 容: 第一部 講演会「防災知識について」

講師: 鳥取県危機管理局 危機対策・情報課

小椋由巳氏、消防防災課 大塚尚生氏

第二部 プレインストーミング

担 当: 第38期 政治行政委員会

編集後記

皆様にお届けするハンサム。メンバー全員で記事をチェックすれば誤字脱字も漏れず、読みやすいハンサムになると思います。残り半期も頑張ってもっと良いものを作っていきます。(野口)